

7 カリグラフィーで イニシャルキーホルダー

デザイン・制作：森 美也子



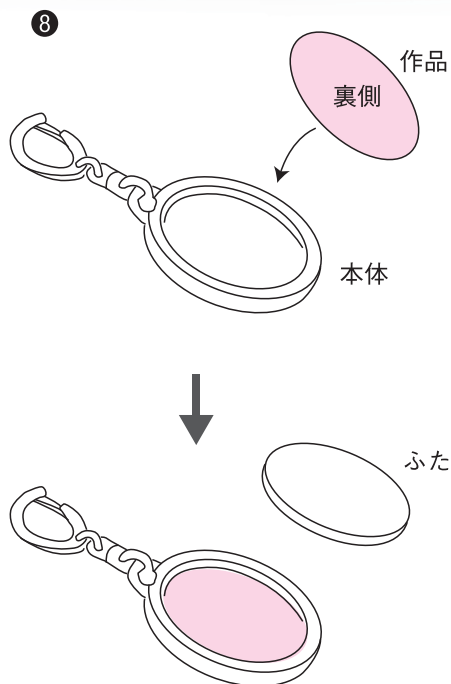
用意するもの

キーホルダーキット（丸型φ5.4cm）、
カリグラフィーマーカー（ペン先が平たく、
3.5mm くらいの幅の広いもの）、
トレーシングペーパー（厚手）、コピー用紙、
色画用紙、鉛筆またはシャープペンシル、
消しゴム、はさみ（直線、波型、ギザギ
ザ型など）、のり、クラフトパンチ（各種）、
スタンプ、シールなど

作り方

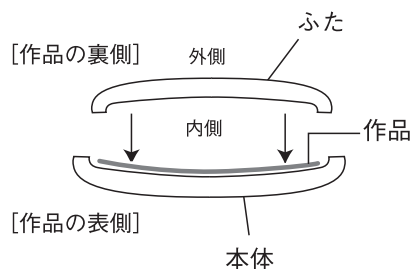
- ① 色画用紙の上にキーホルダーキットのふたを置き、ふたのふちを鉛筆でなぞってうすく円を描く。
- ② 鉛筆で描いた円の少し内側をはさみで切って、直径 5.4cm の円形にする。
- ③ 厚手のトレーシングペーパーにカリグラフィーマーカーでイニシャルを書く。
- ④ イニシャルの上にキーホルダーキットのふたを置いて位置を合わせ、鉛筆で円を描く。
- ⑤ コピー用紙に④のトレーシングペーパーを重ねて、2枚いっしょに波型のはさみなどで丸くカットする。このとき、先にカットした色画用紙よりも少し小さい円形になるようにする。
- ⑥ イニシャルを書いたトレーシングペーパーとコピー用紙をのりで貼り合わせた後、色画用紙に貼る。
- ⑦ 余白や裏面に、クラフトパンチやシール、スタンプなどを使って自由にデザインする。
- ⑧ 中身のデザインができれば、キーホルダーの本体に裏側を上にしてセットし、ふたをはめる。（ふたがある方が裏側になる）





《注意》

キーホルダーキットのふたには外側と内側があります。間違わないようにセットし、グッとほめこみます。一度はめるとはずれにくくなるので、セットするときには中身が曲がっていないか確かめましょう。



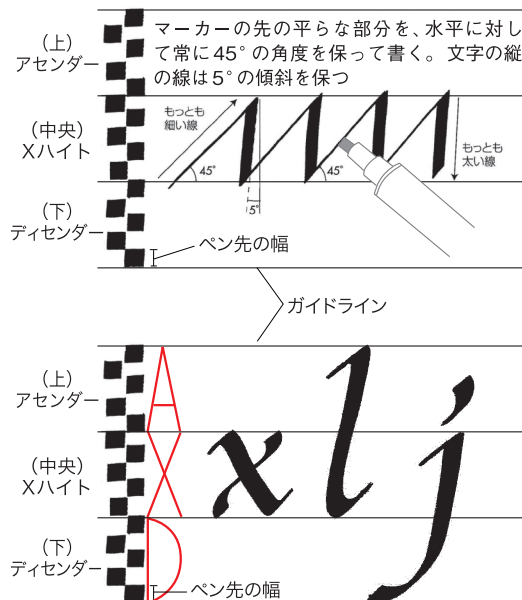
イタリック体の基礎 ~カリグラフィーマーカーを使って~

《カリグラフィーマーカーについて》

ペン先が平たく、2mm、3.5mm など、いろいろな幅のものがある。マーカーの種類には顔料系と染料系がある。マーカーは速乾性もあるためカード制作などには適している

《ガイドラインとマーカーの先の角度》

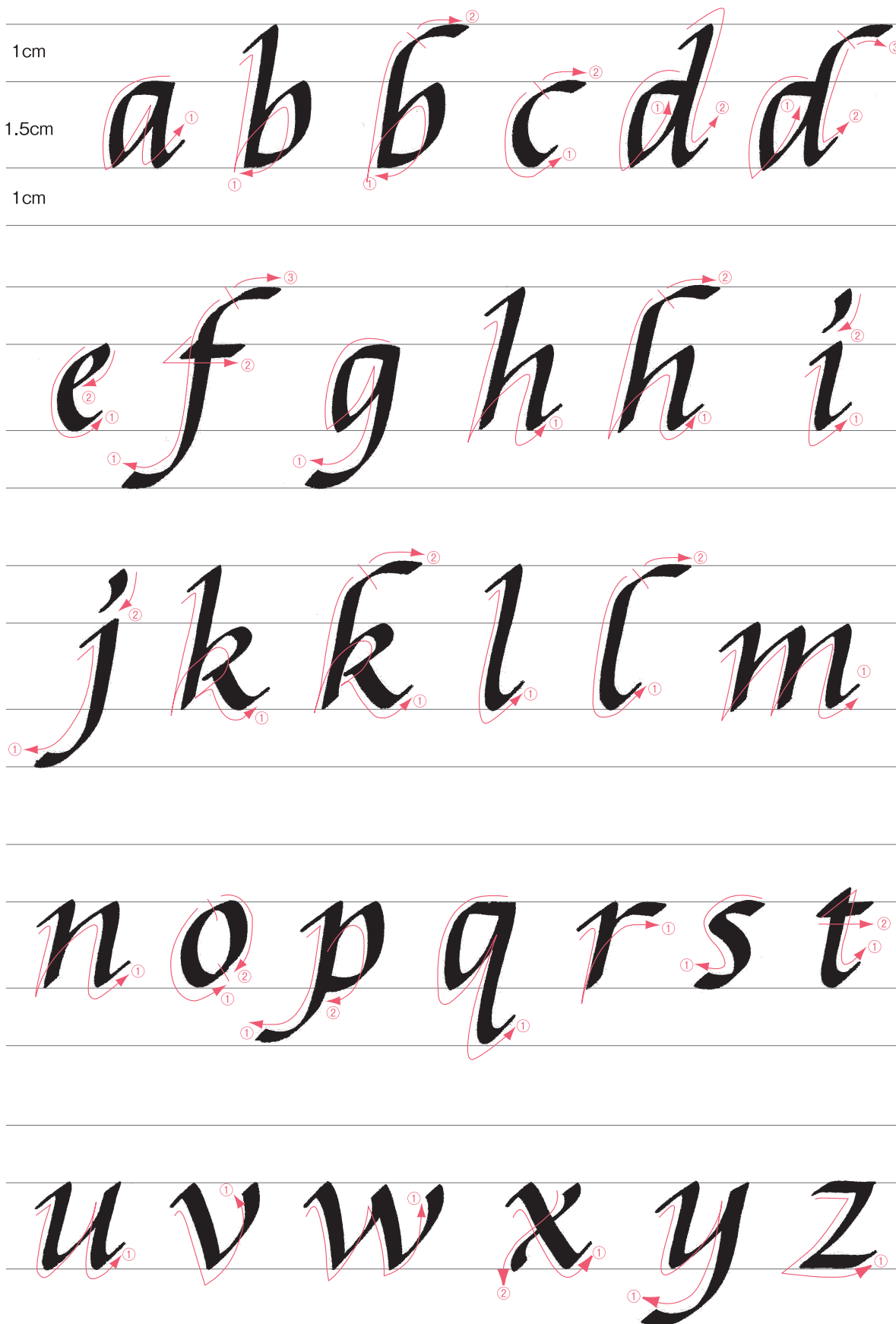
バランスのとれた文字を書くために、鉛筆などで書く案内線をガイドライン（右図の実線）という。イタリック体には、使うペン先の幅 5 つ分を単位とした 4 本のガイドラインがあり、基本の文字の高さ（中央）を「Xハイト」、その上を「アセンドー」、下を「ディセンドー」と呼ぶ



※アセンドー、Xハイト、ディセンドーは、それぞれペン先の幅の5つ分

イタリック体の書体見本

文字：森 美也子



※この書体見本は、キーホルダーの円形に合わせて文字の高さを基本の形よりも低くしてあります。